

たかがい恵美子の活動報告

参議院議員 高階恵美子事務所

東京都千代田区永田町 2-1-1

参議院議員会館 7 1 4 号室

TEL 03-6550-0714 Fax 03-6551-0714

<http://www.takagai-emiko.net>

参・厚生労働委員会で質問

4月12日の参議院厚生労働委員会において、政府の医療・福祉に係る震災復興対応及び雇用・能力開発機構廃止法案に関して質問いたしました。復興にあたっては、これまでと同じ観点で街づくりを行うのではなく、次世代にふさわしい「健康的な街づくり」を目指すべきであると訴えました。

まずは、震災復興関連について以下について質問・提案いたしました。

○通常診療を取り戻すための医療計画の進捗状況について。

○地域の中で最後まで暮らせる多機能集合型の健康的なまちづくり、生活支援、医療支援、介護支援、認知症対策、治安維持の観点で網羅された都市計画が必要。厚労省が主導的に関与すべき。

○地域単位での居住中心のケア提供ができる体制、例えば、検診車や献血車に医療関係スタッフと必要な物資を積載し巡回する、訪問看護のサテライト事業所における看護及び介護が協働したサービス提供、またこれらの活動を通じた情報収集の仕組みの構築など、制度の柔軟な運用も含めて何か検討されているか。

○診療報酬の運営規則など超法規的な柔軟な運用を行わないと、被災地の医療機関が経営困難になり病院を閉めざるを得ないという状況が生じている。政府として策を講じるべき。

○有資格者の事前登録制、避難所において避難者の中で基礎知識のある方を衛生推進員とするなど、非常時の人員確保の仕組みを構築すべき。

○被災地の公共職業訓練施設の被災状況は。訓練の継続性確保のための手当は講じられているのか。

次に、雇用・能力開発機構廃止法案に関して、以下について質問いたしました。

○国の今後の職業能力開発のビジョンは。ハードだけに偏らないものづくり・ひとづくりの視点を持つべき。

○女性の感性を活かせるような分野も先んじて国として取り組むべき。

○ポリテクカレッジ、ポリテクセンターを日本オリジナルブランドの創出基地として、地域に根付いた産業振興を促進する仕組みを構築すべき。

いずれの質問についても、政府の回答は、将来を見据えたビジョンをしっかりと描いた上で、復旧・復興を責任を持って速やかに講じるという気概は感じられませんでした。今後の復興の舵取り役を任せることに大いに不安を感じる内容でした。

自民党看護問題対策議員連盟総会

4月15日、平成23年度自民党看護問題対策議員連盟総会が衆議院第一議員会館会議室にて開催されました。

本議連は、衆議員議員 伊吹文明会長の下、4月1日現在172名（衆111名、参61名）が加入しています。

たかがいは本議連の事務局次長を務めています。

総会には、社団法人日本助産師会、社団法人日本精神科看護技術協会、社団法人全国訪問看護事業協会より要望書が提出されました。



都道府県看護連盟会長会議

4月15日、都道府県看護連盟会長会議が衆議院第二議員会館にて開催されました。たかがいも会議に顔を出させて頂き、各連盟からの震災時の支援に対する感謝の意をお伝えするとともに震災対応などの活動報告をさせて頂きました。また、併せて当事務所の4月からの新たなスタッフの体制について紹介させて頂きました。

会議終了後には、当事務所にお立ち寄り頂いた皆様と懇親を深めました。

